数理解析研究所講究録984

短期共同研究

関数方程式の構造と方法

京都大学数理解析研究所 1997年3月

#### RIMS Kokyuroku 984

# Structure of Functional Equations and Mathematical Methods



March, 1997

Research Institute for Mathematical Sciences

Kyoto University, Kyoto, Japan

この報告集は、1996年11月12日から11月15日まで京都大学数理解析 研究所で開かれた研究集会「関数方程式の構造と方法」の記録である。

研究集会の目的は<構造と方法>を合言葉として微分方程式、積分方程式、関数 微分方程式、畳み込み方程式、バナッハ空間における微分方程式等の定性的理論(解の存在、一意性、安定性、振動性、漸近挙動等)とその力学系、数理工学、逆問題への応用について討論しお互いに啓発することであった。最近の関数方程式に対する手法の進歩に鑑み、どのような結果が得られるかという点とともにどのような方法が有効か、その方法によってうまくいく背景は何かという点に力点をおいて、対象とする関数方程式の(形や仮定からは見えにくい)本質的な構造を明らかにしたいと思ったのである。この目論見がどれほど成功したかは、今後の発展も含め楽しみとして残したいが、予想以上の参加者を集め、熱気に溢れた雰囲気の中で行われたことは望外の喜びであった。御協力下さった皆様に厚くお礼を申し上げたい。また、旅費をはじめとしてお世話になった数理解析研究所に記して感謝したい。

研究集会では収録した講演の他、石村隆一氏 (千葉大理) に「代数解析入門以前」 というタイトルで 2時間講演を頂いた。大変わかりやすい名講義であったが、紙数の 関係で本冊に収録することは断念せざるを得なかった。いずれ近いうちに名著として 現れるものと楽しみにしている。

なお、本研究集会の前身のシリーズに古くから参画され指導的役割を果たしてこられた吉沢太郎先生が集会の開催を前に帰らぬ人となられた。合掌。先生の足跡を辿るべく、お弟子さんの1人である加藤順二氏(東北大 理)による追悼の記を収録した次第であるが、関数方程式の研究の歴史と展望を観る上でも貴重な資料となるものと思う。

この報告集が、参加者の方々にはもとより多くの方に役立つことを願っている。

1997年2月

上村 豊 (東京水産大)

#### 短期共同研究

#### 関数方程式の構造と方法

## 

### 1996年11月12日~11月15日

研究代表者 上村 豊(Yutaka Kamimura)

				A 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	
		1	次		:
1.	ある生態系モ	デルの周期アトラクター	について		1
		島根大・総合理工			
2.	周期解の発生	と概日リズムのモデル			-16
		大阪府立美木多高校			
3.	積分方程式の	伝染病のモデルへの応用	· 		-31
		早稲田大学高等学院	柳谷晃	(Akira Yanagiya)	
4.	Global Asymp	ototic Properties of a	Delay SIR Ep	idemic Model with	
	Varying Popu	ılation Size and Finite	Incubation	Times	-40
		静岡大・エ	竹 内 康博	(Yasuhiro Takeuchi)	
		静岡大•電子科学	馬 万彪	(Wanbiao Ma)	
		Urbino大	Edoardo Ber	etta	
5.	On a duck so	olution and delay in th	e FitzHugh-N	agumo equation	-56
		愛知大•教養	垣内 伸彦	(Nobuhiko Kakiuchi)	
		武蔵工業大・数学	知 沢 清 之	(Kiyoyuki Tchizawa)	
6.	関数微分方程	<b>全式 x'(t)=A(t)x(t-r(t,</b>			-71
				(Shintaro Nishihira)	
		大阪府大・エ	米山 俊昭	(Toshiaki Yoneyama)	
7.		tic equation and asympt			
	delay-differ	rential equations			-75
~		大阪府大・エ			
8.	Melnikov の:	方 法 と そ の 拡 張			-86
		岐阜大・エ			
9.	関数微分方程	引式の準周期解の近似解法			<b>-92</b>
		山梨大・エ	油井誠志		
				(Kenji Hosono)	
		山梨大・エ	栗 原 光 信	(Mitsunobu Kurihara)	

10.	POLYHEDRAL HARMONICS	<del></del>
		岩 﨑  克 則(Katsunori lwasaki)
11.		Y FOR RECURRENT PROCESSES104
	東大・数理	飯 田  健 一(Ken-ichi lida)
12.	Hopf bifurcation for delayed equat	ion-of van der Pol type114
	徳島 大・総合科学	村上 公一(Kouichi Murakami)
	大阪府大・エ	原 惟 行(Tadayuki Hara)
13.	Weak solutions of Sine-Gordon equa	
	analysis	1 2 3
	神戸大・自然科学	Mahmoud Elgamai
		中桐 信一(Shin-ichi Nakagiri)
14.	ある非線形楕円型境界値問題の特異解	の族について138
	阪大•理学	浜 武 亜 希 子(Akiko Hamatake)
	<b>阪大・理学</b>	鈴木 貴(Takashi Suzuki)
15.	Evolution Equations with Infinite (	Delay — To the Memory of
		147
	電通大	内藤 敏機(Toshiki Naito)
	朝鮮大	申 正 善 (Jong Son Shin)
16.	AN INVERSE PROBLEM OF DETERMINING /	
	DIFFERENTIAL EQUATION	161
	東京水産大	上村 豊(Yutaka Kamimura)
17.	NONLINEAR EIGENVALUE PROBLEMS WITH	SEVERAL PARAMETERS176
	広島大・総合科学	柴田 徹太郎(Tetsutaro Shibata)
18.	外力項をもつ2階半分線形微分方程式	について191
	Comenius大·物数	Jaroslav Jaroš
	福岡大•理	草野 尚(Takaŝi Kusano)
19.	Construction of solutions to hypert	bolic differential equations198
	慶応 大・理工	
20.	吉沢太郎先生を悼む	
	東北大・理	加藤順二(Junji Kato)
	the affection of a control of the control of the	